

第7次松山市総合計画
前期基本計画
(案)

目次

I. 総論

1. 基本計画とは.....	1
2. 基本計画の期間.....	1
3. 人口減少対策について.....	1
4. 人口の将来展望について.....	2
(1) 本市人口の自然動態・社会動態の推移と人口ピラミッド.....	2
(2) 本市の人口の展望.....	3
(3) 人口減少対策に求められる視点.....	4

II. 各論（政策別の未来像と取組）

1. 政策別未来像の実現に向けて.....	5
2. 政策・施策体系.....	5
3. 各論の見方.....	6
政策01：こどもを輝く未来へつなぐ【こども・教育】.....	8
政策02：人と人の支えあいをつなぐ【福祉】.....	13
政策03：健康をつなぐ【健康・医療】.....	18
政策04：自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】.....	22
政策05：ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】.....	28
政策06：人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】.....	32
政策07：まちとまちをつなぐ【交通】.....	37
政策08：にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】.....	40
政策09：豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】.....	44
政策10：安全と安心をつなぐ【安全・安心】.....	47
政策11：つなぐを支える【連携】.....	52
4. 各政策に関連する主なSDGsの17の目標一覧.....	58
(1) SDGsとは.....	58
(2) 松山市とSDGs.....	58
5. 用語集.....	60

I. 総論

1. 基本計画とは

基本計画は、基本構想に掲げる将来都市像を実現するための政策・施策等の内容を体系的に示し、政策別未来像や具体的な取組を明らかにするものです。

2. 基本計画の期間

基本計画は、基本構想の計画期間を前期・後期の各5年間に分けて策定します。

今回策定する前期基本計画の計画期間は、令和7年度から令和11年度の5年間です。

年度	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)	令和13 (2031)	令和14 (2032)	令和15 (2033)	令和16 (2034)
基本 構想	10年間									
基本 計画	前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)				
実施 計画	毎年見直し(3年間)									

3. 人口減少対策について

若者の転出超過は少子化につながり、将来の人口減少を加速させる要因となります。

少子化を伴う人口減少は、経済活動や地域活動の中心的な担い手となる生産年齢人口（15～64歳）の減少に直結し、様々な社会活動の縮小を引き起こすほか、社会基盤の維持が将来的に困難になるなど、市民の生活全般に対する満足度や利便性の低下につながることが懸念されます。

これらは、地方都市に共通する課題であり、本市でも、これまでの人口の推移を踏まえると、今後、人口増加に転じる楽観的な将来を描くことは現実的ではありません。

そこで、長期的な人口減少が避けられない中でも、その減少する速度を抑制するとともに、市民の生活基盤を維持し、満足度や利便性を向上させるため、人口減少対策を総合計画の最重要事項に位置づけ取り組んでいきます。

4. 人口の将来展望について

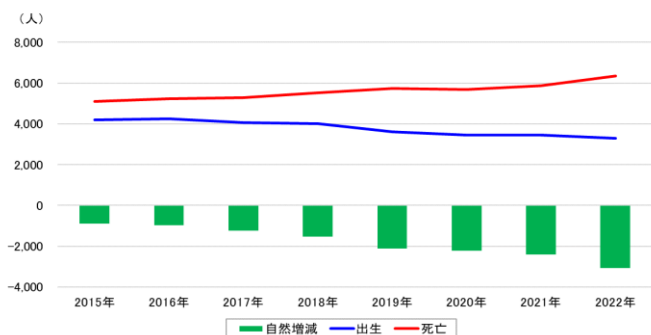
(1) 本市人口の自然動態・社会動態の推移と人口ピラミッド

本市の自然動態は、出生数が減少傾向、死亡数が増加傾向であるため、減少の幅が拡大しています。

また、社会動態は、コロナ禍など社会環境の影響により、増加となった年もありますが、15～29 歳では、進学や就職をきっかけに、市外から転入してくる人の数よりも、市外に転出していく人の数が多い傾向にあります。

さらに、2020 年の国勢調査結果を基にした人口ピラミッドをみると、いわゆる「団塊の世代」と、そのこどもである「団塊ジュニア世代」の人口が多く、一方で、若い世代の人口は年齢が小さくなるほど少なくなっていることから、当面の間、人口の大幅な増加は見込めないことが推測されます。

松山市の自然動態推移

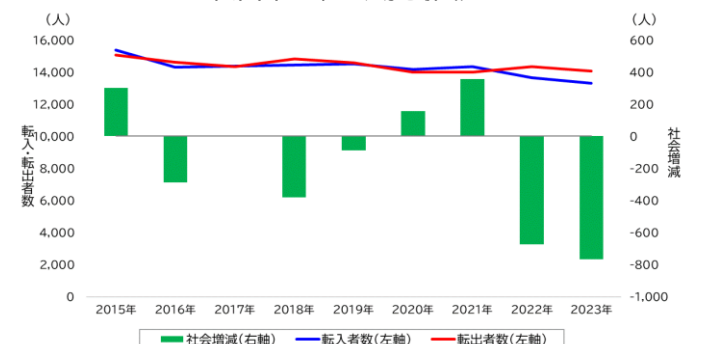


(単位：人)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
出生	4,181	4,242	4,058	4,000	3,602	3,437	3,459	3,277
死亡	5,085	5,229	5,293	5,530	5,724	5,673	5,872	6,347
自然増減	-904	-987	-1,235	-1,530	-2,122	-2,236	-2,413	-3,070

(資料) 厚生労働省「人口動態統計」

松山市の社会動態推移



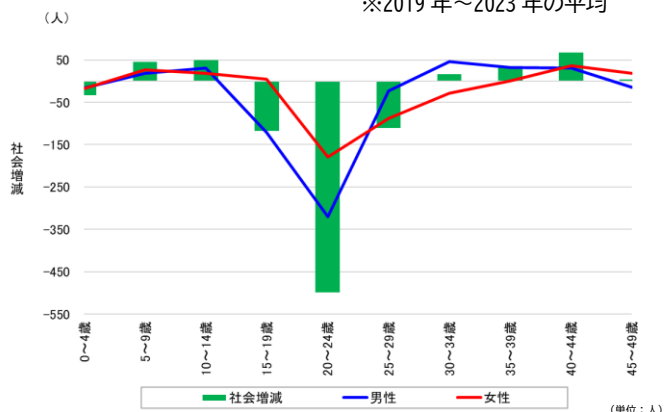
(単位：人)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
転入者数	15,384	14,317	14,362	14,452	14,511	14,168	14,356	13,653	13,307
転出者数	15,084	14,606	14,356	14,833	14,599	14,012	14,000	14,328	14,075
社会増減	300	-289	6	-381	-88	156	356	-675	-768

(注) 日本人のみ (資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

松山市の年齢5歳階級別社会増減の推移(0～49歳)

※2019年～2023年の平均

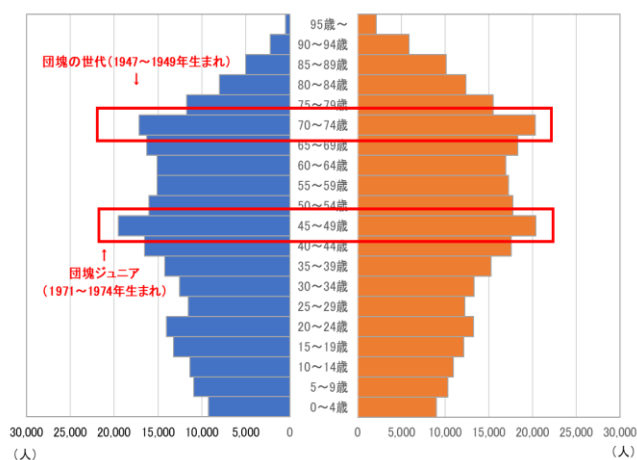


(単位：人)

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
男性	-16	18	31	-121	-320	-23	46	33	31	-14
女性	-18	27	18	4	-179	-88	-29	1	36	18
社会増減	-34	45	49	-117	-499	-111	17	34	67	4

(注) 日本人のみ (資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

松山市の人口ピラミッド



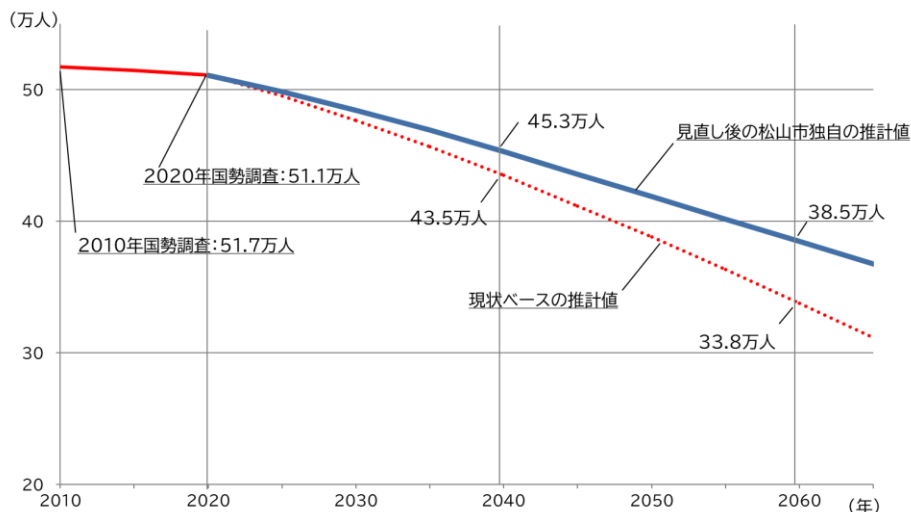
(資料) 総務省「国勢調査」2020年国勢調査

(2) 本市の人口の展望

本市では、「松山創生人口 100 年ビジョン」で、2010 年の国勢調査結果を基準に当時の人口動態を踏まえて将来の人口を展望していますが、基本計画策定にあたり、2020 年の国勢調査結果を新たな基準として、人口展望の推計値を算出しました。

本市の人口は、少子化や若年層の流出により、一層加速して減少していくものの、人口減少対策を進めることで、2060 年には、現状ベースの推計値（33.8 万人）を 4.7 万人上回る 38.5 万人となることが見込まれます。

松山市の人口の展望



(注) 本市独自の推計値では、「地方版総合戦略の策定等に向けた人口動向分析・将来人口推計の手引き（令和 6 年 6 月版）」に基づいて将来人口を推計しています。※基準値は 2020 年国勢調査 51.1 万人

青色実線：見直し後の松山市独自の推計値

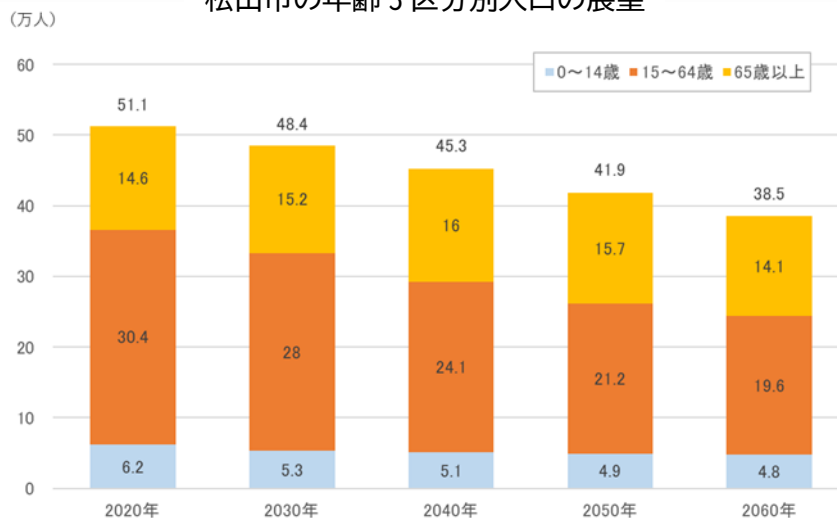
【 — 】 ・合計特殊出生率が 2060 年に 2.07、社会増減が 2025 年以降均衡

赤色点線：2020 年国勢調査結果を基準に以下の条件で算出した推計値（現状ベースの推計値）

【 】 ・合計特殊出生率が「人口動態統計」（松山市保健所）の 2018 年から 2022 年の平均値

・純移動率が 2021 年 10 月 1 日時点と 2023 年 10 月 1 日時点の住民基本台帳登録者数から算出した値

松山市の年齢 3 区分別人口の展望



※単位未満は四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。

(3) 人口減少対策に求められる視点

本市では、今後も人口が減少することに加え、生産年齢人口の割合が大幅に減少することから、全ての政策分野に以下の3つの視点を取り入れ対策を進めます。

① デジタル技術の活用

デジタル技術は、地域社会での活動の利便性や生産性を飛躍的に高め、生活や経済活動の質的向上に寄与することから、社会課題の解決や新たな付加価値を生み出す源泉となり、地域の魅力の更なる向上に資することが期待されます。

そこで、デジタル技術を活用することによって、地域の個性をいかし、社会課題の解決や魅力の向上に資する取組を加速・深化させるとともに、地域経済の活性化のみならず、地域社会全体の変革を目指します。

② 課題の背景を踏まえた分野横断的な対応

人口減少に伴い、地方が抱える課題はこれまで以上に複雑化・多様化し、特定の分野の取組だけでは解決が困難になります。より効果的に課題を解決するためには、その背景をしっかりと分析するとともに、将来の人口構成やそこまでの変遷、必要な人材の育成にかかる期間などを長期的に見据えて複合的に取組を検討することが必要です。

そこで、複数の分野の連携を強化し、それぞれの取組が相乗効果を生むような重層的なアプローチを行います。

③ 民間との連携の更なる推進

人口減少に伴い、予算や職員等、地方自治体が単独で活用できる資源が縮小していく一方で、対応すべき地域課題は増加していくことが予測され、行政だけでそれらを解決するには限界があり、民間の力を活用することが重要になります。

そこで、事業者や団体をはじめとした活動主体それぞれが、地域の経済や暮らしを支える担い手として連携できる場を構築するとともに、民間と行政の連携を深め、共に地域課題と向き合い、本市全体として持続可能なまちづくりを推進していきます。

II. 各論

(政策別の未来像と取組)

1. 政策別未来像の実現に向けて

基本構想で示した将来都市像を実現するために必要なまちづくりの要素を「つなぐ」をキーワードとした 11 の政策として掲げ、それぞれに市民の皆さんが望む未来の姿（政策別未来像）を描きました。政策・施策体系に示す取組を着実に進め、市民や事業者、関係団体の皆さんと一緒にその実現を目指します。

2. 政策・施策体系

政策別未来像の実現に向けた政策と施策の関係を以下のとおり示します。

政策【分野】		政策別未来像	施策
01	こどもを輝く未来へつなぐ 【こども・教育】	地域でこどもを育てている	011 結婚・出産を望む人への支援
			012 切れ目のない子育て支援
			013 学校教育の推進
			014 こどもが主役のまちづくりの推進
02	人と人の支えあいをつなぐ 【福祉】	つながりと支えあいを大切にしている	021 持続可能な社会保障制度の運営
			022 高齢者福祉の充実
			023 障がい者福祉の充実
			024 地域福祉の促進
03	健康をつなぐ 【健康・医療】	健康でいきいき暮らしている	031 健康づくりの推進
			032 医療・保健・衛生体制の整備
04	自分らしさと誇りをつなぐ 【共生社会・コミュニティ】	大好きな松山で、自分らしくいられる	041 多様な価値観が認められるまちづくりの推進
			042 愛着と誇りが高まる地域づくりの推進
			043 地域活動・市民活動の活性化
			044 生涯学習、生涯スポーツ・文化芸術活動の推進
05	ワクワクを全国・世界へつなぐ 【都市の魅力】	松山ファンが増えて、集まってくる	051 人と仕事を呼び込む情報発信
			052 人を引き付けるまちの魅力向上
06	人と仕事と暮らしをつなぐ 【経済・産業】	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる	061 地域経済を支える人づくりの推進
			062 地域産業の振興
			063 産業を支える基盤づくりの推進
07	まちとまちをつなぐ 【交通】	自分に合った移動手段で、気軽に出かけられる	071 良好な移動環境の整備
			072 交通基盤の整備
08	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	都会と田舎の住みやすさが共存している	081 にぎわいのある都市空間の形成
			082 安全な都市基盤の整備
09	豊かな自然と暮らしをつなぐ 【環境】	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている	091 脱炭素・循環型まちづくりの推進
			092 自然と共生するまちづくりの推進
10	安全と安心をつなぐ 【安全・安心】	災害への備えがあり、安心できる	101 地域の防災力向上
			102 消防・救急・救助体制の整備
			103 防犯・交通安全・消費者保護の推進
11	つなぐを支える 【連携】	つながりがまちの活力になっている	111 連携の強化・促進
			112 持続可能な行財政運営の推進
			113 DX の推進
			114 市民参画と広報・広聴の促進

3. 各論の見方

政策ごとに、未来像や市民の皆さんと一緒に取り組んでほしいこと、施策の具体的な内容を掲載しています。

政策番号：政策名【分野】

政策番号は2桁の数字で付番しています。

政策01：こどもを輝く未来へつなぐ【こども・教育】

■政策別未来像

地域でこどもを育てている

政策別未来像

基本構想の計画期間である、10年後（2034年）の未来の理想的な姿です。

10年後の市民の皆さんの実感がどのようになっていることを目指すかを示しています。

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	子育てしてよかったと思う 市民の割合（％）		
客観指標	合計特殊出生率（－）		

政策指標

基本計画の計画期間である、5年後（2029年）の進み具合を測る指標です。

①市民の実感指標

「市民の実感」の状態（主観）を評価する指標を設定しています。

②客観指標

「まちの状態」（客観）を評価する指標を設定しています。

■未来像を実現するために求められる視点

- ・結婚や子育ての希望が叶うよう、結婚・妊娠・出産
経済的な不安や負担の軽減
- ・保育や子育て相談等、子育てにあたって必要なサポート
- ・こどもの遊び場や親子の交流の場など、親子が気軽に
- ・こども・若者の権利の保障と当事者視点の尊重
- ・こどもの興味を引き出し、主体的な学習を促す教育コンテンツの充実
- ・デジタル教材やデータによる学習効果分析、機器等の環境
- ・地域住民による子育てサポートなど、社会全体で子育て
- ・官民連携による学校教育活動の多様化への対応

未来像を実現するために求められる視点

「政策別未来像」の実現に向けた取組の方向性を示しています。

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・子育て仲間をつくり、子育ての楽しさを自ら発信する
- ・身近にいるこどもを少し気にかけてみる。
- ・住んでいる地域の学校の活動に関心を持つ。

【事業者】

- ・こどもを望む従業員や子育て中の従業員も働ける環境づくり
- ・出前授業や職業体験などを通じてこどもや学

【関係団体】

- ・誰もがこどもに関する活動に参加しやすい体制を整える。
- ・こどもにまつわる活動に協力してくれる仲間を増やす。
- ・市全体での子育て環境や教育の充実に向けて、様々な主体と交流する。

未来像の実現に向けて

一緒に取り組んでほしいこと

「政策別未来像」の実現に向けて市民や事業者、関係団体の皆さんに、一緒に取り組んでほしい内容を示しています。

■施策

□施策011：結婚・出産を望む人への支援

施策番号：施策名

政策を推進するための施策名です。
施策番号は3桁の数字を付番しています。

○施策のねらい

- ・ 結婚を希望する人への出会いの機会の提供や、結婚に向けた後押しをします。
- ・ こどもを希望する人の不安や悩みを解消し、安心して妊娠・出産できる環境を整備します。

○主な取組

(1)結婚を望む人への支援（0111）

出会いや交流の場を創出するとともに、結婚

主な取組

施策を推進するための「主な取組」と松山市が取り組む具体的な内容です。
主な取組の番号は（ ）内に4桁で付番しています。

(2)妊娠・出産支援の充実（0112）

将来の妊娠や出産に向けた検査など、こどもを希望する人への支援をするとともに、安心して妊娠・出産ができる相談体制を整えます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名				
(1)	市の出会い・交流事業によるイベントでの成立カップル数（組）	増	今後設定	今後設定	
(2)	出産後に受けた公的な保健指導・ケアに対し満足している者の割合（％）	増	今後設定	今後設定	

成果（アウトカム）指標

施策の成果を評価する指標を「主な取組」ごとに設定しています。

政策01：こどもを輝く未来へつなぐ【こども・教育】

■政策別未来像

地域でこどもを育てている

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	子育てしてよかったと思う 市民の割合(%)	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	合計特殊出生率(－)	今後設定	今後設定

■未来像を実現するために求められる視点

- ・結婚や子育ての希望が叶うよう、結婚・妊娠・出産・子育てに対する心理的・身体的・経済的な不安や負担の軽減
- ・保育や子育て相談など、子育てに必要なサポートの充実
- ・こどもの遊び場や親子の交流の場など、親子が気軽に立ち寄れる場所の充実
- ・こども・若者の権利の保障と当事者視点の尊重
- ・こどもの興味を引き出し、主体的な学習を促す教育コンテンツの充実
- ・デジタル教材やデータによる学習効果分析、機器等の環境整備
- ・地域住民による子育てサポートなど、社会全体で子育てを支援する機運の醸成
- ・官民連携による学校教育活動の多様化への対応

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・子育て仲間をつくり、子育ての楽しさを自ら発信する。
- ・身近にいるこどもを少し気にかけてみる。
- ・住んでいる地域の学校の活動に関心を持つ。

【事業者】

- ・こどもを望む従業員や子育て中の従業員も働きやすい環境を整える。
- ・出前授業や職業体験などを通じてこどもや学校教育との接点を持つ。

【関係団体】

- ・誰もがこどもに関する活動に参加しやすい体制を整える。
- ・こどもにまつわる活動に協力してくれる仲間を増やす。
- ・市全体の子育て環境や教育の充実に向けて、様々な主体と交流する。

■施策

□施策011：結婚・出産を望む人への支援

○施策のねらい

- ・ 結婚を希望する人への出会いの機会の提供や、結婚に向けた後押しをします。
- ・ こどもを持ちたいと望む人の不安や悩みを解消し、安心して妊娠・出産できる環境を整備します。

○主な取組

(1)結婚を望む人への支援（0111）

出会いや交流の場を創出するとともに、結婚を希望する人の後押しをします。

(2)妊娠・出産支援の充実（0112）

将来の妊娠や出産に向けた検査など、こどもを持ちたいと望む人への支援をするとともに、安心して妊娠・出産ができる相談体制を整えます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	市の出会い・交流事業の イベントでのカップル成立数 (組)	増	今後設定	今後設定
(2)	出産後に受けた公的な保健指導・ ケアに対し満足している者の割合 (%)	増	今後設定	今後設定

□施策012：切れ目のない子育て支援

○施策のねらい

- ・ 子育て相談に関する情報発信や交流の場の充実等を図ることで、子育ての不安を和らげ、子育てに希望を持てる地域づくりを推進します。
- ・ 男性の家事・子育てへの主体的な参画促進や共育てを応援する職場の機運醸成などによって、働きながら子育てしやすい環境づくりを支援します。
- ・ 全てのこどもが楽しく健やかに成長するための支援をします。

○主な取組

(1)楽しい子育てを実現するための支援（0121）

子育てに関する情報発信を行うほか、「こどもまんなか社会」の実現に向け、企業や団体などが行う、こどもや子育て家庭を支援する活動の事例を紹介しながら、社会全体で、こどもや子育てを応援する気運を醸成します。

(2)子育て支援の充実や親子の居場所づくり（0122）

認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育事業所等での教育・保育の提供や、一時預かり、病児・病後児保育などの地域子ども・子育て支援事業の充実を図ります。

また、子育てひろばなど、親子が一緒に過ごせる居場所を整えます。

(3)性別を問わず家事や子育てと仕事を両立できる環境づくり（0123）

共育てに向けて、男性育休の取得促進や、多様な働き方と子育ての両立を推進し、性別に対するアンコンシャス・バイアス、ジェンダー平等などに関する講座等の実施によって様々な世代へ理解の促進を図ります。

(4)特に配慮が必要な家庭やこどもに対する支援（0124）

こどもの貧困対策や社会的養護に取り組むとともに、障がい児・医療的ケア児など、多様な支援ニーズを必要とするこどもの健やかな育ちを支えます。また、障がいなどがあるこどもを対象にした相談窓口の設置や、日常生活の基本的な動作指導、保護者やその家族への総合的な支援をします。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	市子育て情報サイトのアクセス数（回）	増	今後設定 (R6年度)	今後設定
(2)	保育所等待機児童数（人）	現状維持	今後設定 (R6年度)	今後設定
(3)	家事・育児等と仕事の両立に関する講座の男性参加者割合（％）	増	今後設定	今後設定
(4)	こども相談や障がい児相談の相談件数（件）	増	今後設定	今後設定

□施策013：学校教育の推進

○施策のねらい

- ・ こどもが様々なことに自ら興味を持ち、効果的に学びを深められる教育を推進するとともに、こども一人ひとりの学びの機会を尊重します。
- ・ 多様な主体との関わりの中で、地域にも開かれた学校運営を推進します。

○主な取組

(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現（0131）

令和の日本型学校教育の構築を目指し、全てのこどもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るため、「松山の授業モデル」に基づく主体的・対話的で深い学びを具現化した授業づくりや教育内容の充実に努めます。

(2)ふるさとへの関心や愛着を育む教育の推進（0132）

こどもたちがふるさと松山で、持続可能な社会の創り手となれるよう、必要な資質・能力を育成することを目的に、「ふるさと松山学」を活用したふるさと教育など、特色ある松山の教育を進めていきます。

(3) 効果的な学びを促進する教育環境の充実（0133）

教職員の資質向上と働きやすい環境整備、学校施設の長寿命化やGIGAスクール構想の推進などによって、適切な学習環境を整備するとともに、地域人材等の積極的な活用による支援体制の整備を進めることで、全てのこどもたちが十分に教育を受けることができるよう、教育環境の充実に図ります。

(4)こどもの多様性に配慮した教育の充実（0134）

こども一人ひとりの学習意欲や学習成果の向上を図るため、適切な就学相談のほか、学校生活支援員などの効果的な活用によって、多様な教育的ニーズに応じた学習環境を整備していきます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	「松山の授業モデル」を意識して授業を実施している学校の割合（％）	現状維持	今後設定	今後設定
(2)	「ふるさと松山学」を授業等で活用する小・中学校の割合（％）	現状維持	今後設定	今後設定
(3)	児童生徒のICTスキル習熟度割合（％）	増	今後設定	今後設定
(4)	特別支援教育指導員派遣相談のうち、就学前相談の割合（％）	増	今後設定	今後設定

□施策014：こどもが主役のまちづくりの推進

○施策のねらい

- ・ こどもを将来のまちづくりの主役と捉え、権利の主体として、地域等と積極的に関わりながら活躍できる場を創出します。
- ・ こどもが多様な交流の中で育まれ、社会全体で見守られる地域づくりを進めます。

○主な取組

(1)こども・若者の意見をまちづくりに反映する仕組みづくり（0141）

こどもや若者の意見を松山市の取組に反映するとともに、こども・若者の社会参画を推進します。

(2)こどもの居場所づくり（0142）

児童館や放課後児童クラブなどの充実を図るとともに、自宅や学校以外にも、こどもが気兼ねなく過ごせる居場所を確保します。

(3)こどもの育ちに関わる人材の確保（0143）

保育士や教員・放課後児童クラブなど、こどもに関わる人材を確保し、安全・安心に、こどもが過ごすことができる質の高い環境を整えます。

(4)こども・若者の可能性を広げる意識の醸成（0144）

将来を担うこどもや若者のライフデザインを支援することで、自らの可能性を広げるような自立的なライフプランニングを促します。

(5)地域でこどもを育み見守る体制づくり（0145）

社会に開かれた教育課程の実現のため、地域人材の活用や、コミュニティ・スクール、部活動の地域移行などの段階的な導入を視野に入れ、学校・家庭・地域の連携を推進し、地域全体でこどもたちが安心して暮らせる環境づくりを推進します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	こどもからの意見を聞く機会（回）	増	今後設定 (R6年度)	今後設定
(2)	放課後児童クラブの待機児童数（人）	増	今後設定 (R6年度)	今後設定
(3)	保育の質の向上に関する研修会に参加した保育士等の人数（人）	増	今後設定	今後設定
(4)	高校生との意見交換会の実施回数（回）	増	今後設定 (R6年度)	今後設定
(5) -1	部活指導員・外部指導者の派遣人数（人）	増	今後設定	今後設定
(5) -2	放課後子ども教室や学校に対する多様な協力活動に関わった人数（人）	増	今後設定	今後設定

政策02：人と人の支えあいをつなぐ【福祉】

■政策別未来像

つながりと支えあいを大切にしている

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値 (R6年度)	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	地域や社会とのつながりを感じている市民の割合（％）	今後設定	今後設定
客観指標	生きがいを感じる活動や社会活動等（※）に参加している高齢者の割合（％）	今後設定	今後設定

（※）就労を含む

■未来像を実現するために求められる視点

- ・高齢者の健康づくりや介護予防、就労や地域活動など、高齢になってもできるだけ長い期間、健康で元気に暮らすための取組の促進
- ・日常生活への支援や介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができる環境の整備
- ・障がい者が自らの意思に基づいて自立的に行動するための支援
- ・地域で暮らす様々な人たちの暮らしをサポートする人材の確保・育成、地域での包括的な支援体制の強化
- ・生活困窮状態にある人たちのセーフティネットの確保や、自立的な生活への移行に向けた支援

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・仲間をつくって、情報交換やお互いのサポートをする。
- ・障がいのある人との交流や障がいに関する知識を深める機会を持つ。
- ・地域の福祉ボランティアとして活動する。

【事業者】

- ・働く意欲を持つ高齢者や障がい者を積極的に雇用する。
- ・介護現場に介護ロボット・ICT等を導入し、職員の負担軽減や介護サービスの質の向上を図る。

【関係団体】

- ・福祉関連の活動を行う担い手同士で交流を深め、連携する。
- ・地域福祉活動に市民や事業者を巻き込む仕掛けをつくる。

■施策

□施策021：持続可能な社会保障制度の運営

○施策のねらい

- ・健康保険や介護保険等をはじめとした社会保障制度を適正に実施するとともに、生活に困窮する世帯の自立を支援します。

○主な取組

(1)地域共生社会の実現に向けた体制づくり（0211）

福祉・子育て相談窓口を中心に、その他の相談支援機関等と連携を密にし、複雑化した課題に対し包括的に対応するほか、ひきこもりや孤独・孤立対策など、重層的な支援体制を構築していきます。

(2)社会保障制度の適正かつ安定的な運用（0212）

生活保護制度の適正な運用や、生活困窮者の課題解決に向けた相談支援、関係機関との連携による就労支援などの自立支援に取り組むとともに、高齢化や社会保険の適用拡大といった社会情勢の変化に対応した事業運営や支援、介護DXの推進による介護人材等の確保に努めます。

また、援護年金の受給に係る相談など各種援護事業を適正に実施します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	地域福祉専門分科会開催数 (回)	現状維持	今後設定	今後設定
(2)	国民健康保険料収納率(%)	増	今後設定	今後設定

■施策

□施策022：高齢者福祉の充実

○施策のねらい

- ・ 高齢になっても元気でいきいきと暮らせるよう、健康づくりや生きがいづくりを支援します。

○主な取組

(1)高齢者の健康づくりや社会参加の促進（0221）

高齢者の健康維持のため、健康課題に応じた健康教室や健康相談等を実施するとともに、住民が主体的に健康づくりや介護予防に取り組むための支援体制を強化し、全ての高齢者が地域で孤立することなく生きがいを持って暮らせるよう、地域活動や交流の場の市域全体への展開を支援します。

(2)住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり（0222）

認知症サポーターや民生委員・児童委員などによる、地域での相談・見守り体制の強化を通じて、高齢者が地域で安心して暮らすことができる環境づくりを推進します。

また、個別のごみ収集サービス（ふれあい収集）など在宅生活の支援や家族介護の負担軽減に取り組み、高齢者が在宅での生活を続けられる環境を整備します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	健康アプリ登録者数（人）	増	今後設定	今後設定
(2)	愛の一声訪問事業利用者数 （人）	増	今後設定	今後設定

□施策023：障がい者福祉の充実

○施策のねらい

- ・ 障がいのある人やその家族が、障がいの種別や程度に関係なく安心して暮らせるよう、様々な主体と連携しながら支援をします。
- ・ 障がいのある人が地域や社会の中で自立的に活動できる環境を整備するとともに、障がいへの理解を深めるための取組を推進します。

○主な取組

(1)障がい者支援の充実（0231）

相談体制の充実を図るとともに、障害福祉サービスなどの在宅生活の支援、家族介護の負担軽減に取り組み、地域生活を続けられる環境を整備します。

(2)障がい者の社会参加・雇用の促進（0232）

障がいのある人がスポーツや文化活動を日常的に行える場づくりや、地域行事などへの参加を促進します。また、一般就労や福祉的就労に向けた支援、職業能力の開発などに取り組むことで、就労機会の確保を図ります。

(3)障がいへの理解の促進（0233）

相互理解の促進のため、広報や民間事業者向けの研修などの意識啓発活動を行います。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	総合的、専門的な相談支援の実施件数（件）	現状維持	今後設定	今後設定
(2)	福祉施設から一般就労に移行した障がい者の人数（人）	増	今後設定	今後設定
(3)	民間事業者向けの意識啓発研修受講者数（人）	増	今後設定	今後設定

□施策024：地域福祉の促進

○施策のねらい

- ・ 従来からの担い手はもちろんのこと、誰もが地域の福祉活動に少しずつでも関わることができる機会を創出します。

○主な取組

(1)地域福祉活動の推進（0241）

民生委員・児童委員の活動を広く周知するとともに、「民生・児童委員活動ハンドブック」の活用など、負担軽減となる取組を関係機関と連携して充実させることで、民生委員・児童委員の活動を支援します。

(2)地域福祉の担い手拡大（0242）

地域福祉の担い手が継続的に活動できる環境を整備するとともに、社会福祉協議会との連携によって、福祉ボランティアの育成に取り組めます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	民生委員・児童委員の認知度 (%)	増	今後設定	今後設定
(2)	福祉学習の受講者数（人）	増	今後設定	今後設定

政策03：健康をつなぐ【健康・医療】

■政策別未来像

健康でいきいき暮らしている

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	医療体制が充実していると思う市民の割合(%)	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	健康寿命 (※)(年)	今後設定	今後設定

(※) 日常生活上の動作が自立している期間の平均

■未来像を実現するために求められる視点

- ・生活習慣を改善し、病気になるリスクを低くする取組などを通じた生活習慣病の発症予防、重症化予防の推進
- ・日常生活上の動作を維持・向上するための、心身の健康づくりの推進
- ・松山圏域の救急医療体制と地域医療体制を維持するための関係機関との連携
- ・公衆衛生向上のための、食の安全確保、感染症対策への取組の推進
- ・動物の適正飼育の普及啓発による動物愛護の推進

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・バランスの良い食事を心掛け、適正な飲酒や禁煙に努める。
- ・日常生活の中でできるだけ体を動かし、自分に合った運動を定期的に行う。
- ・十分な睡眠を確保する。
- ・定期的に健康診断を受診する。
- ・基本的な感染対策を心掛け、自身の健康を守り、周囲への感染拡大防止に配慮する。
- ・自分や家族の健康に関心を持ち、適正な医療の受診を心掛ける。

【事業者・関係団体】

- ・従業員が健康で安全に働けるよう配慮する。
- ・市民や従業員が気軽に参加できる健康づくりの機会を提供する。
- ・地域の保健や医療を担う人材の確保・育成に努める。
- ・感染症対策や食の安全の確保、適正な生活衛生サービスの提供を行う。

■施策

□施策031：健康づくりの推進

○施策のねらい

- ・ 忙しさから健康に対する意識が希薄になりがちな働く世代を中心に、健康づくりの取組を支援します。
- ・ 病気や自殺を予防し、心身の健康を良好に維持するための取組を促進します。

○主な取組

(1)健康づくり活動に取り組む市民への支援（0311）

健康教育や健康相談等による知識や情報の提供、企業等と連携した働く世代に対する支援などを通じ、健康づくりに取り組むきっかけを提供します。また、取組の継続を支援することで、市民の健康の保持増進を図り、健康寿命の延伸につなげます。

(2)予防医療の充実や心身の健康維持の促進（0312）

健（検）診機会の充実や効果的な受診勧奨で定期受診を促し、生活習慣病の発症や重症化を予防するとともに、定期予防接種の実施やゲートキーパーの養成などを通じて、市民が生涯にわたり心身ともに健康で質の高い生活を送れるよう支援します。

また、かかりつけ薬局の普及を図り、医薬品の適正使用を推進します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	生活習慣病予防を意識した運動や食生活などを6か月以上継続している人の割合（％）	増	今後設定 (R6年度)	今後設定
(2)	メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率（％）	増	今後設定	今後設定

□施策032：医療・保健・衛生体制の整備

○施策のねらい

- ・ 必要な時に必要な医療が受けられる医療体制の維持に努めます。
- ・ 感染症対策や食の安全の確保、動物愛護等を推進し、生活衛生環境の維持・向上を図ります。

○主な取組

(1)持続可能な二次救急医療体制の構築（0321）

市医師会、基幹病院及び松山圏域2市3町などの関係機関と連携し、24時間対応の小児救急医療体制を維持するとともに、持続可能な二次救急医療体制を構築します。

また、緊急性のない軽症患者の安易な利用を防ぐため、市民への周知啓発に取り組むなど、救急医療機関の適正利用を推進します。

(2)地域医療体制の維持（0322）

島しょ部など地域に即した医療体制の維持を図ります。また、かかりつけ医を持つことの意義を市民に周知啓発するとともに、市民への身近な医療機関の情報提供や、医療に関する相談対応等を通じて、市民一人ひとりに適した医療を提供できる体制を維持します。

(3)感染症対策の推進（0323）

感染症の発生動向を調査し、感染予防のための情報発信や注意喚起を行うとともに、感染症発生時には、疫学調査を実施し、まん延防止対策をします。

(4)生活衛生の向上（0324）

生活衛生施設等に対する適正な許認可や立入検査を行い、事業者が提供する生活衛生サービスの向上を図ります。

犬の登録及び狂犬病予防注射の周知啓発や、猫の不妊・去勢手術への補助、動物愛護イベントの開催を通じて、動物の適正飼育及び動物愛護への意識の醸成に取り組めます。

また、市営3斎場を適切に管理運営するとともに、火葬炉施設の老朽化や増加する火葬需要に対応するため、松山市斎場をPFI事業で再整備します。

(5)食の安全の確保（0325）

食品等取扱施設に対する継続的な監視や食品検査を行うことで、食の安全を確保します。また、食中毒が発生した場合には、原因究明調査等を迅速に行い、適切に対応します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 11年度)
(1)	救急医療需要に応じた一次、二次、三次救急医療が提供できる体制（％）	現状維持	今後設定	今後設定
(2)	中島地域の24時間対応の初期医療が提供できる体制（％）	現状維持	今後設定	今後設定
(3)	結核り患率（％）	減	今後設定	今後設定
(4)	狂犬病予防注射接種率（％）	増	今後設定	今後設定
(5)	食品衛生法違反件数（件）	減	今後設定	今後設定

政策04：自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】

■政策別未来像

大好きな松山で、自分らしくいられる

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値 (R6年度)	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	地域に愛着や誇りを感じている市民の割合(%)	今後設定	今後設定
客観指標	地域活動(※)に参加している市民の割合(%)	今後設定	今後設定

(※) 地域でのボランティア、清掃活動、祭り、町内会・自治会、スポーツなど趣味のグループ活動などの通いの場等

■未来像を実現するために求められる視点

- ・ 人権課題が多様化、複雑化・深刻化している現状を踏まえた対応や啓発活動の推進
- ・ 本市固有の地域資源・魅力をまだ知らない市民への働きかけや、魅力をよく知る市民からの発信等による、地域への誇りや愛着の醸成
- ・ 市民主体のまちづくりの担い手拡大に向けた地域コミュニティの各種活動への参画促進
- ・ 生涯学習や生涯スポーツ、文化芸術活動等への幅広い市民の参加による市民活動の活性化
- ・ 戦争の記憶を風化させないための次世代への継承

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・ 自分自身が差別や偏見を持っていないか、意識する。
- ・ まだ訪れたことのない市内の場所に行き、自分でまちの魅力を発掘・発信する。
- ・ 地域で行われている活動のうち、興味を持てるものに参加してみる。
- ・ 戦争の悲惨さや平和の尊さについて、学んだことを話し合う。

【事業者】

- ・ 研修の実施や相談窓口の設置を通じて、人権侵害が起こっていないか確認する。
- ・ 行政や関係団体が地域で実施する啓発イベントに参画・協力する。

【関係団体】

- ・ より多くの市民に活動に参加してもらえるよう、積極的に情報発信する。

■施策

□施策041：多様な価値観が認められるまちづくりの推進

○施策のねらい

- ・ 差別や偏見などの人権侵害を解消するとともに、あらゆる場面で一人ひとりの人権について意識できるよう、総合的な啓発をします。
- ・ 外国人住民との共生を目指して、相互理解の促進を支援します。
- ・ 平和に対する意識を高め、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝える場を創出します。

○主な取組

(1)自己と他者の権利尊重に対する意識の醸成（0411）

全ての人が、互いの人権や多様性を認め合い尊重し合う社会を実現するため、教育・啓発活動などを行い、企業、学校、地域、家庭などのあらゆる場で、ダイバーシティを推進するとともに、アンコンシャス・バイアスを解消し、人権意識の醸成を進めます。

(2)性別にかかわらず暮らしやすい社会の実現（0412）

企業や団体、市民に対して啓発を実施することで、男女があらゆる場面で対等に能力を発揮することができる男女共同参画社会を推進するとともに、性の多様性を認め合う教育・啓発活動などを行い、性別にかかわらず暮らしやすいまちづくりを進めます。

(3)国際交流・多文化共生の推進（0413）

姉妹・友好都市等、諸外国との都市間交流の進展を図り、文化・経済・教育・スポーツなどの多様な国際交流の機会を、こどもをはじめとした市民に提供することで、異文化理解を促進し、外国人住民との相互理解につなげます。

(4)平和意識の醸成・継承（0414）

「平和資料展」の開催や「平和の語り部」の派遣・記録などを通して、平和に対する意識の高揚を図ります。また、戦争遺跡として^{えんたいごう}掩体壕を保存し、見学の機会を設けるなど、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に継承します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	人権問題に関する学習会や研修会への参加者数（人）	現状維持	今後設定	今後設定
(2)	審議会などに占める女性委員の割合（％）	現状維持	今後設定	今後設定
(3)	中学生世界体験プロジェクト参加者数　【累計】（人）	現状維持	今後設定	今後設定
(4)	平和資料展の来場者数（人）	増	今後設定	今後設定

□施策042：愛着と誇りが高まる地域づくりの推進

○施策のねらい

- ・ 島しょ部や沿岸部、里山などの地域特性のほか、『坂の上の雲』のまちづくりや「ことば」文化、文化財など、松山ならではの地域資源の魅力を市民に浸透させ、市民の愛着や誇りを喚起します。

○主な取組

(1)愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり（0421）

坂の上の雲ミュージアムを中核施設とする「フィールドミュージアム構想」の各ゾーンをはじめ、地域ならではの特性や歴史・文化資源などを住民や関係団体が一体となって掘り起こし、磨き上げるための支援を行い、地域の更なる魅力を生み出します。

(2)「ことば」をいかしたまちづくり（0422）

正岡子規、夏目漱石等の文人をはじめ、小説『坊っちゃん』や『坂の上の雲』、俳句等の文学的土壌や^{こうしんあん}庚申庵史跡庭園、一草庵などの施設をいかした、啓発事業やイベント開催によって、「ことば」をいかしたまちづくりを進めます。

(3)文化財の保存・活用（0423）

松山城や道後温泉本館等の歴史的建造物や史跡などの文化財について、行政と関係機関が連携を図りながら、保存・活用を推進します。また、文化財所有者や文化財の保存・活用に携わる市民や団体を支援するとともに、イベントの開催などを通じた新たな利活用を進めます。

(4)地域の魅力に触れる機会の創出（0424）

パンフレットやホームページなどで地域資源の情報を広く発信するとともに、ウォーキング・サイクリングといった参加しやすい手法や、地域の拠点となる施設・場所を活用した伝統行事、交流イベントの開催によって、多くの方が地域の魅力に触れる機会を創出します。

(5)移住者や若者への定着支援（0425）

移住者が地域コミュニティの一員として、暮らしやすさを実感できるよう、情報共有や交流の場の創出、住居・仕事のサポートなどを行い、定住を支援します。また、若者を中心に市民自らが松山の魅力を体感し、愛着や誇りを高めてもらうための活動をします。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 11年度)
(1)	坂の上の雲のまちづくりの 認知度（％）	現状維持	今後設定	今後設定
(2)	俳句ポストの投句者数（人）	現状維持	今後設定	今後設定
(3)	松山城天守入場者数（人）	増	今後設定	今後設定
(4)	ほしふるテラス姫ヶ浜の 利用者数　【累計】（人）	現状維持	今後設定	今後設定
(5)	定住促進イベントの参加者数 （人）	増	今後設定	今後設定

□施策043：地域活動・市民活動の活性化

○施策のねらい

- ・ 幅広い世代の市民の地域活動への参加を支援し、主体的な地域づくりを促進します。

○主な取組

(1)地域団体活動への支援・協働（0431）

まちづくり協議会をはじめとした地域運営組織の活動内容や役割について、幅広い世代へ周知するとともに、地域活動の担い手の育成や団体の運営の支援を通じて、行政と地域運営組織が対等な立場で協働できる、持続性の高い地域づくりを推進します。

(2)市民活動の推進（0432）

NPOなどの市民活動団体に対して、発足から自立までのサポートを行うとともに、活動の広報や団体相互の交流、レベルアップに向けた講座の開催など、市民が地域で行う様々な公益活動を推進します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	住んでいる地域のまちづくり活動が盛んだと思う人の割合(%)	増	今後設定	今後設定
(2)	市民活動推進補助金交付団体数〔累計〕(団体)	増	今後設定	今後設定

□施策044：生涯学習、生涯スポーツ・文化芸術活動の推進

○施策の狙い

- ・ 施設や設備、プログラムなどを充実し、より幅広い市民の生涯学習や生涯スポーツ、地域での文化芸術活動等への参画を促します。

○主な取組

(1)生涯学習の推進(0441)

生涯を通して、誰もがいつでも自己実現に向けた学習を効果的に行うことができるよう、地域の団体や企業などと連携した機会の提供を図るとともに、生涯学習リーダーの育成や関係団体への支援を強化します。また、生涯学習の成果を社会的な資本として活用し、まちづくりやこどもの育成に役立てる機会を提供します。

(2)生涯スポーツ活動の推進(0442)

市民がライフステージに応じたスポーツ活動に気軽に安心して参加できるよう、スポーツ施設の計画的な改修・整備や小中学校の体育館・グラウンドの開放を行うとともに、各地域でのスポーツ大会の開催支援や、指導者の育成、情報発信をすることで、地域での活動を推進します。

(3)文化芸術活動の推進(0443)

市民による練習や発表の場となる文化施設の維持整備を行うとともに、文化芸術の情報発信や鑑賞・活動機会の提供、保存伝承や後継者の育成、保存団体等への運営支援などによって、市民誰もが気軽に文化芸術に触れる機会を充実させます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	生涯学習に関する講座参加者数（人）	増	今後設定	今後設定
(2)	公民館対抗スポーツ大会の参加者数（人）	現状維持	今後設定	今後設定
(3)	文化芸術の鑑賞や活動をしている市民の割合（％）	増	今後設定	今後設定

政策05：ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】

■政策別未来像

松山ファンが増えて、集まってくる

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	松山市の魅力を友人や知人に紹介したいと思う市民の割合(%)	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	・観光客推定数(人) ・外国人観光客推定数(人) ・観光客推定消費額(円)	今後設定 (R5年)	今後設定

■未来像を実現するために求められる視点

- ・松山の魅力を高め、市内外から選ばれるまちになること
- ・多くの市民が松山の魅力を知り、愛着や誇りを持つこと
- ・市内の観光地が、観光客だけでなく市民にとっても親しまれ、お気に入りの場所になること
- ・近隣・広域双方の回遊性の向上や滞在日数の延長による、市内全体への経済効果の波及
- ・世界中から観光客が訪れる、持続可能な観光地経営
- ・移住の意向を持つ人に向けた情報発信や空き家の活用を含めた住居の確保
- ・島しょ部ならではのツーリズムや滞在型アルバイトなど、関係人口を増やし、移住につなげるための多様なアプローチ
- ・アニメ・映画の聖地（舞台・ロケ地）などの発信力の強いコンテンツやSNSの活用

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・松山の自然・文化・歴史の魅力を知り、楽しむ。
- ・松山の良いところを市外の人に紹介する。
- ・観光客や移住を検討している人など、松山を訪れる人に親切に接する。

【事業者】

- ・業種にかかわらず、松山の魅力をアピールする。

【関係団体】

- ・外国語での案内の充実など、観光客が滞在しやすい環境を整備する。

■施策

□施策051：人と仕事を呼び込む情報発信

○施策のねらい

- ・道後温泉や松山城などがある市内中心部から島しょ部まで、多様な特徴を持つ松山の魅力を、観光や仕事、移住などの目的別にターゲットを設定して発信します。

○主な取組

(1) シティプロモーションの推進（0511）

市内外から選ばれるまちを目指すため、市民の松山への愛着や誇りと、市外からの関心や憧れをより一層育み、松山ならではの魅力を効果的に発信します。

(2) 観光プロモーションの推進（0512）

道後温泉や松山城のほか、まつり・イベントなど、松山を代表する観光資源や地域資源を活用して、観光公式WEBサイトやSNSを通じたプロモーションを行うことで、国内外に松山の魅力を発信します。

(3) 移住・定住の促進（0513）

松山の魅力や暮らしやすさをホームページやSNSで発信するとともに、首都圏・関西圏での移住フェアへの出展や、移住検討者のニーズに寄り添った相談体制や支援、体感ツアーの実施など、移住先としての認知度を高め、「住みたい」「住み続けたい」まちを目指します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	ブランディングサイトのアクセス数（件）	増	今後設定	今後設定
(2)	観光公式Instagramのフォロワー数（人）	増	今後設定	今後設定
(3)	移住に関する相談人数（人）	増	今後設定	今後設定

□施策052：人を引き付けるまちの魅力向上

○施策のねらい

- ・「ことば」文化や歴史、芸術、スポーツなど、松山が持つ多様な魅力に磨きをかけ、多くの人に楽しんでもらえる機会をつくります。

○主な取組

(1)広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進（0521）

地域一体となった観光まちづくりに向けて、外国人や高齢者、障がい者など、全ての観光客が安心して快適に旅行できる受入環境や体制を整えるとともに、松山圏域や瀬戸内地域など、周辺地域も含めた周遊型の観光コンテンツや旅行商品を、データの活用によって開発します。また、オール松山体制でMICEを誘致・支援するなど、ビジョンに基づく戦略的な誘客を促進します。

(2)「ことば」文化の発信（0522）

俳句や小説、縁のある文人等の文学的土壌をいかしたイベントの開催や、子規記念博物館、こうしんあん 庚申庵、いっそうあん 一草庵など俳句や俳諧に関係する施設の活用によって、全国に類のない松山ならではの「ことば」文化を広く発信し、ことばのまち松山の魅力向上につなげます。

(3)スポーツを通じた誘客の推進（0523）

野球やサッカー、バスケットボールなどのプロスポーツの支援事業を通して、交流人口の増加や地域経済の活性化を図るとともに、関係団体や民間事業者と協力し、スポーツコンベンションの誘致を推進します。

(4)文化芸術の振興と活用（0524）

文化芸術を創る人、鑑賞する人、支援する人など、様々な形で文化芸術に関わる市民が、産業や観光をはじめ教育、福祉など幅広い分野で文化芸術を活用することを促進し、更なる振興を図ります。

(5)商業集積等によるまちの活性化（0525）

商店街や観光施設、関係団体等が連携し、市内外からの集客や回遊性向上を図るため、地域が持つ魅力や特性をいかして、まちの魅力を高めつつ、商業の活性化を推進することで、家族や友達と一緒にに行ける場所や、楽しく買い物ができる場所が充実するなど、まちの賑わい創出につなげます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 11年度)
(1)	市内宿泊者数（人）	増	今後設定	今後設定
(2)	俳句や短歌に関する大会・イベントの参加者数（人）	増	今後設定	今後設定
(3)	スポーツ大会・合宿等開催助成金誘致件数（件）	増	今後設定	今後設定
(4)	松山市を文化的なまちだと思う市民の割合（％）	増	今後設定	今後設定
(5)	中央商店街の新規出店数 〔累計〕（件）	増	今後設定	今後設定

政策06：人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】

■政策別未来像

さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	現在の職場が働きやすいと思う市民の割合(%)	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	・市内総生産(円) ・市民一人当たりの所得(円)	今後設定 (R5年度)	今後設定

■未来像を実現するために求められる視点

- ・多様な背景を持つ人々(若者、女性、高齢者、外国人等)が働きやすい環境づくり
- ・市内企業への継続的な賃上げの働きかけ
- ・若者のキャリア形成に向けたチャレンジへの支援
- ・産業用地の確保、企業誘致の促進など、新たな産業と雇用の場を生み出す取組の促進
- ・農林水産業の担い手の所得向上

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・松山の生産物や製造品を積極的に購入する。
- ・松山の製品の良さを市外に向けて口コミで伝える。
- ・みんなが気持ちよく働ける環境づくりに協力する。

【事業者】

- ・長期的目線に立って積極的な投資を行い、新たな雇用を増やす。
- ・柔軟な働き方を可能にする仕組みを取り入れ、多様な人材が働きやすい環境づくりをする。

【関係団体】

- ・まつやま農林水産物ブランド産品等の魅力、良さ、特長を市外に積極的に発信する。
- ・松山で働く人の声を聴き、安心して働けるように支援する。

■施策

□施策061：地域経済を支える人づくりの推進

○施策のねらい

- ・ 松山で働く魅力を多くの人に伝えるとともに、多様な人材（若者や女性、高齢者、外国人等）が働きやすい環境づくりを促進します。
- ・ 柔軟な働き方に対応できる事業所を増やすとともに、松山で働く人たちのスキル向上や学び直しを支援します。

○主な取組

(1)多様な人材が働きやすい環境づくり（0611）

若者や女性、高齢者、外国人などが働きやすい労働環境を整備するほか、テレワークをはじめとした様々な働き方を推進することで、多様な人材の就労機会の拡充に取り組みます。また、複業を通して自らのスキルをいかしたいと考えている都市部人材等と市内企業とのマッチング支援を行い、関係人口の創出を図ります。

(2)松山で働く人材の確保・育成（0612）

若者をはじめとする人材の地元企業への定着を促すため、国家資格の取得など、従業員の能力開発・向上に資する取組を支援します。また、DXによる生産性向上を支えるため、IT人材の育成に向けた大学等の教育機関との連携や起業支援などに取り組みます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	従業員の福利厚生の向上に取り組む企業数〔累計〕（人）	増	今後設定	今後設定
(2)	国家資格や公的資格等の資格取得者数（件）	増	今後設定	今後設定

□施策０６２：地域産業の振興

○施策のねらい

- ・ 松山に新たな産業と雇用の場を生み出し、商業や農林水産業も含めた松山の地域産業を振興することで、松山の企業・事業者が新たなチャレンジに積極的に取り組めるようにします。

○主な取組

(1)新産業の創出（０６２１）

産官学金の立場を超えた協働・共創のコミュニティである「松山版エコシステム」を構築し、革新的なビジネスモデルによって社会にイノベーションを生み出すスタートアップを創出することで、社会問題を解決しながら経済活性化をけん引するとともに、多くの雇用を生み出します。

(2)企業間連携の推進（０６２２）

創業や経営拡大、円滑な事業承継を推進するため、専門家による相談窓口を設置し、企業、金融機関、関係機関と連携を図るとともに、新たなビジネスの創出を目指し、市内企業と市外企業の企業間連携によるイノベーションの創出に取り組みます。

(3)中小企業の振興（０６２３）

金融機関や地元経済団体などの関係機関と連携しながら、融資制度を通じた資金調達支援や、海外を含む販路拡大支援、業務のデジタル化などによる生産性向上の支援で営業基盤の強化を行うとともに、「中小企業振興円卓会議（松山市中小企業振興基本条例の外部推進組織）」などと協力しながら、産官学金連携で地域経済の活性化を図ります。

(4)商店街の活性化（０６２４）

商店街をはじめとする商業集積地の活性化を図るため、商店街への出店や商店街の活動を支援するとともに、来街者や観光客などの周遊促進や消費拡大を図るなど、地域のにぎわいづくりや魅力向上に取り組みます。

(5)持続可能な農林水産業の構築（０６２５）

農林水産品の高品質・高付加価値化や販路拡大の支援、資源維持、有害鳥獣対策などで農林漁家経営の安定を図ります。また、農業DXによる生産性の向上などで、担い手の確保・育成を図ります。さらに、農地転用許可制度の執行などで優良農地を保全するほか、森林の整備を支援し、多面的機能の向上につなげます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 11年度)
(1)	投資（※）を受けたベンチャー 企業数〔累計〕（社）	増	今後設定	今後設定
(2)	企業間連携による新規事業数 〔累計〕（件）	増	今後設定	今後設定
(3)	販路拡大支援による商談件数 （件）	増	今後設定	今後設定
(4)	中心市街地商店街の空き店舗 率（％）	減	今後設定	今後設定
(5)	認定農業者数（人）	現状維持	今後設定	今後設定

（※）国などからの支援を含む

□施策063：産業を支える基盤づくりの推進

○施策のねらい

- ・ 産業用地を確保し、外から事業者を呼び込むとともに、市外への企業流出も防ぎます。
- ・ 松山が国内各地や世界とつながるために流通機能を整えるなど、産業の基盤づくりを進めます。
- ・ 農林水産業の生産を支える基盤を作り、維持します。

○主な取組

(1)企業立地の推進（0631）

市外企業の誘致や市内企業の拡大促進と流出防止を図ることで、投資と雇用を拡大し、経済の発展を促進します。

また、産業用地の確保やオフィスの新築や建て替えを促し、新たな企業の投資を受け入れる環境を整え、企業立地の促進を図ります。

(2)農林水産業の生産基盤等の整備（0632）

防災・減災対策によって、自然災害に強く安全で安心な生産基盤を作るとともに、農林水産業施設の長寿命化を図り、生産基盤を将来にわたり適切に維持・保全します。

(3)流通機能の充実（0633）

公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点を持った市場運営に取り組むほか、幹線道路や空港、港湾などの整備等により、物流機能を向上させます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	企業立地奨励制度の指定企業数（社）	増	今後設定	今後設定
(2)	防災対策済のため池の数（箇所）	増	今後設定	今後設定
(3) -1	松山港のコンテナ取扱量（TEU）	現状維持	今後設定	今後設定
(3) -2	松山空港の貨物取扱量（t）	現状維持	今後設定	今後設定

政策07：まちとまちをつなぐ【交通】

■政策別未来像

自分に合った移動手段で、気軽に出かけられる

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	気軽に目的地へ移動しやすいと思う市民の割合(%)	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	市内公共交通機関(※)の利用者数(人)	今後設定 (R5年度)	今後設定

(※) 松山空港・松山観光港・JR・伊予鉄等含む

■未来像を実現するために求められる視点

- ・移動したいときにシームレスに利用できる移動手段の充実と、交通拠点の整備
- ・日常生活を支える交通の維持・確保
- ・安全・安心で歩きたくなる魅力あふれるコンパクトなまちづくり
- ・松山を訪れる人が、円滑に周遊できる交通ネットワークの形成
- ・自動運転技術など次世代モビリティ(移動手段)の導入

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・公共交通等の利用や徒歩・自転車での移動を積極的に選択する。

【事業者】

- ・事業者間での連携を強化し、ダイヤの相互調整等によってシームレスな移動を可能にする。
- ・自動運転などの新たな技術の導入等によって、利用者の利便性と効率化を両立させる。

【関係団体】

- ・四国新幹線の早期実現に向けた周知・啓発・要望活動に参画する。

■施策

□施策０７１：良好な移動環境の整備

○施策のねらい

- ・コンパクトなまちづくりを進め、いつでも市内のどこからでも、ストレスなく移動できる環境を作ります。

○主な取組

(1)身近な移動環境の充実（０７１１）

安全・安心で快適に歩いて暮らせる歩行者空間を創出するため、無電柱化や交差点の改良、歩道整備を進めるとともに、適正な駐輪場の整備や放置自転車対策を強化します。

また、シェアサイクルや自動運転をはじめとした次世代モビリティサービスの導入など、多様な移動手段の選択が可能な拠点を整備し、誰もが移動しやすい環境を作ります。

(2)公共交通機関の利便性向上（０７１２）

鉄道や路面電車、バス、タクシー、航空機、船舶など、多様な交通網を有する松山市の特性をいかし、各交通機関の連携を進めるとともに、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組み、誰もがシームレスに公共交通を利用できる環境整備に努めます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (Ｒ５年度)	目標値 (Ｒ１１年度)
(1)	中心市街地の放置自転車台数 (台)	減	今後設定	今後設定
(2)	公共交通の便利なまちだと思 う市民の割合 (%)	増	今後設定	今後設定

□施策072：交通基盤の整備

○施策のねらい

- ・道路、港湾、空港、鉄道など、交通の基盤となる施設を整備し、ネットワーク化することで、市外と松山市との出入りを活発にし、広域から人の流れを呼び込みます。

○主な取組

(1)幹線道路網の整備（0721）

渋滞緩和や物流効率化の支援・観光地へのアクセス性向上を図るため、松山外環状道路など、主要な幹線道路の早期完成を目指し、道路網の充実を図ります。

(2)交通拠点の強化（0722）

J R松山駅や松山市駅の交通拠点としての機能強化やアクセス性向上に取り組むとともに、松山空港の路線拡充に向けた支援や港湾利用者の利便性向上と安全確保のため、港湾機能の充実を図ります。また、観光、産業、防災、市民生活など、多方面に大きな効果をもたらす四国新幹線の実現に向けた活動に取り組みます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	中之川通線・本町宝塔寺線の 整備延長〔累計〕(m)	増	今後設定	今後設定
(2)	松山空港発着運航便数(便)	増	今後設定	今後設定

政策08：にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】

■政策別未来像

都会と田舎の住みやすさが共存している

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	松山市は住みやすいと思う 市民の割合(%)	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	中心市街地の通行者数(※) (人)	今後設定 (R5年度)	今後設定

(※) 年間の3地点の平日・休日の合計を1月分に平均した数値

■未来像を実現するために求められる視点

- ・コンパクトでウォーカブルなまちの形成に向けた都市機能の整備・集約
- ・美しいまちなみと賑わいを創出する取組への支援や、まちの景観に対する市民の意識の醸成
- ・快適な住環境を確保するための取組や支援、空き家対策の強化
- ・日常生活での使いやすさに加えて、災害にも強いインフラ整備の推進
- ・いつでも安心して安全な水が使える環境の整備と、適切な汚水処理の推進
- ・便利で住みやすい暮らしを支える都市基盤の老朽化対策・設備更新

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・中心市街地に買い物や食事に出かける。
- ・住居を探す時には、中古物件も候補として検討してみる。
- ・水の無駄遣いをしない。

【事業者】

- ・会社が保有する建物や看板等について、まちの景観に配慮する。
- ・まちのにぎわいを創出するイベントや仕掛けに積極的に参画する。

【関係団体】

- ・まちのにぎわいを創出するイベントや仕掛けづくりを行う。

■施策

□施策０８１：にぎわいのある都市空間の形成

○施策のねらい

- ・ まちの玄関口となるＪＲ松山駅や松山市駅周辺整備などによって、にぎわいのある緑豊かな都市空間を形成するとともに、都市機能が集約されたコンパクトなまちづくりを進めます。

○主な取組

(1)緑豊かで良好な都市空間の形成（０８１１）

景観計画の策定・運用や民間事業者への景観誘導、各種景観まちづくり事業の実施を通じ、良好な景観形成と、市民の景観に対する意識の高揚を図ります。また、都市公園については、長寿命化計画に基づく再整備等を行い、需要の変化も見越した上で、適切な維持管理に努めます。

(2)中心市街地の活性化（０８１２）

ＪＲ松山駅周辺・松山市駅前の整備に加え、市街地再開発事業などの民間主導の取組や商店街への出店・建替えを後押しし、商店街等の関係者と連携しながら、官民一体で中心市街地の活性化を推進します。

(3)計画的な土地利用の促進（０８１３）

一番町や銀天街Ｌ字地区の再開発事業や民間主体の景観整備、にぎわい創出の取組を支援し、官民協働で計画的な土地利用の促進によるコンパクトなまちづくりを推進します。
また、都市の周辺部での無秩序な市街化を防止するため、都市計画区域内の開発行為の許可事務等について厳格に運用します。

(4)住宅の適切な管理と支援（０８１４）

築年数が経過した市営住宅を計画的に改修し、適切に維持管理をします。また、市民の住宅リフォームを支援し、住宅の長寿命化やバリアフリー化を促すとともに、空き家の流通促進や、危険な老朽空き家の所有者等に対する除却支援を行います。

(5)良好な通信環境の確保（０８１５）

市内の情報通信格差を解消し均衡ある発展を図るため、島しょ部に整備した情報通信基盤を維持管理します。また、市内の主要な観光施設や防災拠点などに整備した公衆無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）の安定稼働に努めます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 11年度)
(1)	景観計画区域の指定数 〔累計〕（地区）	増	今後設定	今後設定
(2)	中心市街地の地価の平均 （千円/㎡）	増	今後設定	今後設定
(3)	地籍調査の進捗率（％）	増	今後設定	今後設定
(4)	市営住宅の入居率（％）	現状維持	今後設定 (R 6年度)	今後設定
(5)	公衆無線LAN設備正常稼働 率(計画メンテナンスを除く) （％）	現状維持	今後設定 (R 6年度)	今後設定

□施策082：安全な都市基盤の整備

○施策のねらい

- ・ 誰もが安心して快適に過ごせるよう、生活道路・上下水道の災害対策などを推進し、安全な都市基盤をつくります。

○主な取組

(1)生活道路の適切な維持管理（0821）

市民の安全・安心な通行や災害時等の緊急車両の通行路を確保するため、地域住民等と連携し、生活道路の適切な維持管理とともに、道路の拡幅や交差点の改良を行う など、効果的・効率的に整備します。

(2)災害に強い都市基盤・施設の整備（0822）

頻発する集中豪雨に備えるため、浸水やがけ崩れ対策の工事を実施します。また、上下水道施設の計画的な耐震化・耐水化及び雨水管渠等の整備を進め、地震や浸水による被害の軽減を図ります。

(3)安定した水の供給と污水处理（0823）

節水機器の普及や水源かん養林の整備など節水型都市づくりを進め、渇水時・緊急時の対応強化に取り組みます。また、上下水道施設の整備や更新、日常点検、水質検査を計画的に実施するなど、安定した水供給と污水处理を行います。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	まつやまマイロードサポーター登録団体数（団体）	増	今後設定	今後設定
(2)	上水道の基幹管路の耐震適合率（％）	増	今後設定	今後設定
(3)	下水道の ^{かんきょ} 管渠改善率（％）	現状維持	今後設定	今後設定

政策09：豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】

■政策別未来像

自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	環境にやさしい行動をしていると思う市民の割合 (%)	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	市全体の温室効果ガス排出量 (万t-CO ₂)	今後設定 (R5年度)	今後設定

■未来像を実現するために求められる視点

- ・脱炭素型ライフスタイルの推進
- ・再生可能エネルギー等の導入
- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進
- ・環境の保全（廃棄物の不法投棄や不適正処理の未然防止に向けた監視と早期対応、合併処理浄化槽の普及による汚水の浄化等）
- ・生物多様性の保全と回復
- ・環境教育・啓発による意識の向上

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・家庭から出るごみの量を減らし、分別・再利用を徹底する。
- ・省エネ家電や再生エネルギーを積極的に使う。
- ・できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する。
- ・地域の美化活動に協力する。
- ・松山の自然に関心を持ち、その恵みを実感する。

【事業者】

- ・廃棄物を適正に処理する。
- ・脱炭素社会の実現につながる再生可能エネルギーの利用や省エネ設備の導入などを進める。
- ・大気や水質保全のための活動などを通して地域環境へ配慮する。

【関係団体】

- ・市民が松山の自然に触れる機会をつくる。
- ・環境に関する様々な課題を市民に分かりやすく解説し、学ぶ機会をつくる。

■施策

□施策091：脱炭素・循環型まちづくりの推進

○施策のねらい

- ・ 地球温暖化の防止と持続可能な社会の実現に向け、市内一丸となって脱炭素化に取り組めます。
- ・ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を進めるとともに、廃棄物の適正処理を進めます。

○主な取組

(1)温室効果ガスの削減（0911）

再生可能エネルギー等の導入や脱炭素型ライフスタイルへの転換策、産業・家庭・運輸等の対策など、温室効果ガスの削減が期待される取組を進めます。

(2)3Rの推進（0912）

食品ロスの削減をはじめとしたごみの発生を抑制する（リデュース）とともに、限られた資源の再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を進めます。

(3)ごみの適正処理の推進（0913）

ごみ処理施設の延命化、廃止、縮小を考慮した施設マネジメントを行うとともに、廃棄物処理業者等に対する指導・監視による適正処理を徹底するなど、生活環境の保全に取り組めます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	松山市役所の温室効果ガス 排出量（万t-CO ₂ ）	減	今後設定	今後設定
(2)	ごみのリサイクル率（%）	増	今後設定	今後設定
(3)	廃棄物許可業者等に対する 行政処分件数（件）	現状維持	今後設定	今後設定

□施策092：自然と共生するまちづくりの推進

○施策のねらい

- ・ 気候変動や生物多様性など、環境に関する様々なテーマについて、市民の理解を深めるとともに、市民や事業者の美化活動を推進します。
- ・ 市内の豊かな自然を守り、生物多様性を保全します。
- ・ 大気や水質の状態を監視し、良好な生活環境を守ります。

○主な取組

(1)環境教育や美化活動の推進（0921）

市民の環境意識を高めるため、幅広い世代を対象に環境教育を行うとともに、市民大清掃や様々な美化活動などを通して、美しいまちづくりを進めます。

(2)豊かな自然環境と生物多様性の保全（0922）

希少動植物や自然に関する講座・イベントなどを通して、自然環境に対する関心を高めるとともに、県と連携して生態系に影響を及ぼす外来生物対策を進めます。

(3)生活環境の保全（0923）

事業者への排出基準遵守等の指導や市民への浄化槽の適正な管理指導などを通して、市民の生活環境に直結する、大気、水質等の環境基準の達成に努めます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	環境に関する講座、イベント数（回）	増	今後設定	今後設定
(2)	自然に関する講座、イベント数（回）	増	今後設定	今後設定
(3)	光化学スモッグ注意報の発令日数（日）	現状維持	今後設定	今後設定

政策１０：安全と安心をつなぐ【安全・安心】

■政策別未来像

災害への備えがあり、安心できる

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	日頃から災害に備えている と思う市民の割合（％）	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	防災士数（人）	今後設定 (R5年度)	今後設定

■未来像を実現するために求められる視点

- ・ 災害発生時にも迅速かつ的確な対応ができる体制の更なる充実
- ・ 家庭内の防災対策の啓発
- ・ 国や県、関係機関のほか、消防団や自主防災組織等との連携の強化
- ・ 世代や職域に応じた全世代型防災教育の推進
- ・ 幅広い世代を対象とした、交通安全教室などの交通安全啓発活動の実施
- ・ 高齢者や若年者を中心とした、消費者被害の防止のための啓発活動や消費者教育の実施

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・ 避難所等の確認や防災訓練への参加、非常用持出袋の準備や家庭内備蓄、家具転倒防止対策など、日ごろから災害へ備える。
- ・ 交通マナーを守り、交通安全を心がける。
- ・ 「えひめ救急電話相談＃７１１９」の利用などによって、救急車の適正利用を心がける。

【事業者】

- ・ 災害時の対応や従業員の安全確保のため、事業所での防災教育を推進する。
- ・ 被災後の業務が早期に再開できるよう、業務継続計画を策定する。

【関係団体】

- ・ 防災、火災予防、交通安全、消費者被害等について啓発活動や教育活動を行う。

■施策

□施策１０１：地域の防災力向上

○施策のねらい

- ・ 災害発生時に、迅速かつ適切な対応が取れるよう庁内体制を強化するほか、円滑な対応に向け、日頃から国や県、関係機関や自主防災組織などとの連携を図ります。
- ・ 学校や地域、施設などでの防災対策を率先する防災リーダーを育成するため、全世代型防災教育を進めます。
- ・ 市民の迅速かつ的確な避難行動を促進するため、防災関連情報を周知するとともに、地域防災の担い手の育成や、避難行動要支援者などの避難支援を計画的に進めます。

○主な取組

(1)危機管理体制の強化（１０１１）

職員の危機管理意識や対応能力等の向上、緊急情報伝達体制の充実に加えて、国や県、関係機関との連携強化を図ります。また、訓練等を踏まえた計画・マニュアルの見直し、防災マップ等の更新、備蓄物資等の充実や防災関連施設の整備を進めます。

(2)全世代型防災教育の推進（１０１２）

防災教育に継続して取り組むことで、災害から一人でも多くの命を守るため、小学生から高齢者まで、世代や職域に応じた全世代型防災教育を進めます。

(3)地域防災の担い手の確保・育成（１０１３）

自主防災組織の活動の活性化や地域防災の担い手の確保・育成を目的として、定期的な防災訓練や研修会などを実施し、防災士のスキルアップを図ります。

(4)防災・減災意識の向上（１０１４）

木造住宅や大規模建築物など民間の建築物の所有者に耐震化の重要性を周知し、耐震化を支援するとともに、避難路などの安全性を確保します。

また、障害者手帳の等級や要介護度、災害発生時の居住地の危険性等を考慮し、避難行動要支援者の個別避難計画の作成を進めます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 11年度)
(1)	食料備蓄数（食）	現状維持	今後設定	今後設定
(2)	防災士フォローアッププログラムの受講者数〔累計〕（人）	増	今後設定	今後設定
(3)	自主防災組織による防災訓練への参加者数（人）	増	今後設定	今後設定
(4)	耐震性のある住宅の割合（％）	増	今後設定	今後設定

□施策１０２：消防・救急・救助体制の整備

○施策のねらい

- ・ 消防体制の充実に向けて、必要な人員・車両・資機材の確保と適切な運用を進めるとともに、松山圏域の消防本部等との連携強化に取り組みます。
- ・ 火災予防に向けて、住宅用火災警報器の設置促進や建築物等の防火安全の取組などを進めます。
- ・ 高齢化の進行や熱中症の増加等で増え続ける救急需要に適切に対応する取組を進めます。
- ・ 地域の消防力強化に向けて、消防団や女性防火クラブ、防火連絡協議会の活動に取り組みます。

○主な取組

(1)消防・救急・救助体制の充実（１０２１）

最新の機能や技術を備えた消防車両や救助資機材を計画的に更新・整備するほか、愛媛県緊急消防援助隊合同訓練等を実施し、消防機関の連携活動能力の向上などに取り組みます。

また、「えひめ救急電話相談＃７１１９」の啓発等で、救急車の適正利用を促すとともに、救急車の効果的な運用を行い、現場到着時間短縮に取り組みます。

(2)地域消防力の強化（１０２２）

地域防災の中核となる消防団を充実・強化するため、幅広い世代の消防団員を確保し、計画的に消防団車両や資機材を更新・整備するとともに、教育訓練等を実施します。

また、松山市地域防災協議会に所属する各団体と連携して訓練や研修会、意見交換等を定期的に実施し、総合的な地域消防力の向上に取り組みます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (Ｒ５年度)	目標値 (Ｒ１１年度)
(1)	えひめ救急電話相談＃7119 事業の利用者数（件）	増	今後設定	今後設定
(2)	消防団員訓練等参加延べ人数 〔累計〕（人）	増	今後設定	今後設定

□施策１０３：防犯・交通安全・消費者保護の推進

○施策のねらい

- ・安全安心なまちづくりを推進するため、防犯灯の更新など防犯対策に取り組みます。
- ・幅広い世代を対象に交通安全教育・教室を展開し、交通事故の発生を防止します。
- ・悪質商法や特殊詐欺の消費者被害を未然に防ぐため、特に高齢者向けの出前講座などの啓発活動や関係機関との情報共有・連携を進めます。

○主な取組

(1)犯罪のないまちづくり（１０３１）

ＬＥＤ防犯灯の設置などを支援し、夜間の犯罪・事故の未然防止を図るほか、不審者情報などを市民に周知し、安全で安心なまちづくりを推進します。

犯罪や非行歴のある者等が地域社会で孤立することなく社会復帰できるよう、更生保護関係団体や国・県と連携し、住居や就労の確保等の支援活動を行うことで、再犯防止を図ります。

(2)交通安全対策の充実（１０３２）

幅広い世代を対象とした交通安全教室や、関係機関・団体と連携した啓発活動を継続して実施し、交通安全対策の充実を図ります。

(3)消費者被害の未然防止（１０３３）

特殊詐欺を想定した訓練や出前講座などを通じた情報発信や特定計量器の検査などを実施することで、消費者被害の未然防止を図ります。

また、関係機関や団体と連携した相談体制を充実するとともに、複雑・多様化する消費生活相談に的確に対応できるよう、担当職員や相談員のスキルアップを図ります。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 11年度)
(1)	刑法犯検挙者数中の再犯者数 (人)	減	今後設定	今後設定
(2)	交通事故の発生件数 (件)	減	今後設定	今後設定
(3)	消費生活講座 (出前講座) 参加者数 (人)	増	今後設定	今後設定

政策１１：つなぐを支える【連携】

■政策別未来像

つながりがまちの活力になっている

■政策指標

指標の種類	指標名	基準値	目標値 (R11年度)
市民の実感指標	デジタル化で生活が便利になったと思う市民の割合（％）	今後設定 (R6年度)	今後設定
客観指標	・官民連携事業数（事業） ・社会移動数（転入-転出）（人）	今後設定 (- / R5年度)	今後設定

■未来像を実現するために求められる視点

- ・複数の分野にまたがる取組の連携強化
- ・地域課題解決に向けた民間との連携
- ・関係人口・交流人口拡大に向けた広域連携
- ・持続可能な行財政基盤の整備
- ・職員の資質向上と能力を最大限に引き出す職場環境の整備
- ・市有地や公共施設の集約や転用等も含めた有効活用の推進
- ・デジタル化、DXの推進等によるユーザー本位の業務改善とそれに対応できる人材育成
- ・情報セキュリティ対策の強化
- ・市民参画と広報・広聴の促進

■未来像の実現に向けて一緒に取り組んでほしいこと

【市民】

- ・オンライン化された行政手続等を活用してみる。
- ・市政に関心を持ち、市が発信する情報を周りで必要としている人に積極的に伝える。
- ・市が主催するイベントやワークショップ、会議などに参加し、意見やアイデアを出してみる。

【事業者・関係団体】

- ・自社・自団体の得意分野をいかして多様な主体と連携し、地域課題の解決に共に取り組む。
- ・継続的にデジタル技術の活用やデジタル人材の育成に取り組む。

■施策

□施策１１１：連携の強化・促進

○施策のねらい

- ・ 人口減少が進む中、企業や教育機関、民間団体など多様な主体と連携・協働することで、新たなつながりを生み出し、多様な視点から地域課題の解決に取り組みます。
- ・ 県や県内市町のほか、広域的な視点で多様な自治体等と連携し、地域の活性化を推進します。

○主な取組

(1)民間との連携の推進（１１１１）

持続可能なまちづくりを進めていくため、民間の力を活用しながら行政サービスの向上を図るとともに、企業や教育機関、民間団体などとの連携によって、地域一体となって課題の解決に取り組みます。

(2)多様な地域との連携強化（１１１２）

全国の市や中核市で組織される会、東京事務所を持つ都市の会などへの参画を通して、本市単独では得難い情報を収集するとともに、共通する課題の調査研究や団体としての意見表明の機会を得て、市政の円滑な運営と発展に活用します。

松山圏域の中心都市として、広域的な視点で他自治体や団体と連携し、圏域全体の持続的発展や活性化を目指します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (Ｒ５年度)	目標値 (Ｒ１１年度)
(1)	新プラットフォームの会員数 (団体)	増	今後設定	今後設定
(2)	他の地方公共団体との連携数 (件)	増	今後設定	今後設定

□施策１１２：持続可能な行財政運営の推進

○施策のねらい

- ・ 限られた経営資源を有効に使い、定員管理や職員の資質向上、民間との役割分担や協働に取り組むことによって、持続可能な行財政運営を推進する体制を強化します。

○主な取組

(1)持続可能な行政運営の推進（１１２１）

事業の選択と集中、デジタル化・ＤＸを推進するとともに、適正な定員管理や新たな行政課題への対応に取り組み、効果的・効率的で持続可能な行政運営を推進します。

また、情報公開制度の適正運用や個人情報保護の徹底のほか、工事や委託、物品調達の公正な運用を行います。加えて、市民からの相談に応じる体制を整備し市民サービスの向上につなげていきます。

(2)職員の人材確保・育成（１１２２）

多様化・高度化する市民ニーズにデジタル技術等を使つて的確に対応できる人材の確保・育成に取り組むほか、職員の多様な働き方を可能にし、一人ひとりの能力を最大限に引き出すことで、職員がやりがい・成長実感を得られる職場環境の整備に取り組みます。

(3)健全な財政運営の推進（１１２３）

国や県などの支出金をはじめ、ふるさと納税制度等も最大限活用して歳入の確保に努めるほか、スクラップ・アンド・ビルドや選択と集中でメリハリをつけた予算配分や一層の経費節減を進めるなど、中長期的な視点に基づき、引き続き、一般会計や特別会計、企業会計の健全な財政運営に努めます。また、基幹財源である市税収入の安定的な確保のため、適正かつ公平な課税・徴収に努めます。

(4)公共施設マネジメントの推進（１１２４）

施設保有量の最適化や計画的な維持保全などの公共施設マネジメントを推進することで、財政の健全性を維持しながら、施設の質を充実させ、市民のニーズに対応した公共施設を提供します。また、未利用物件の売却や貸付を行うなど、公有財産の有効活用を図ります。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 11年度)
(1)	松山市人材育成・行政経営 改革方針 実行計画に掲げる 指標の達成度 (%)	増	今後設定	今後設定
(2)	担当業務にやりがいを感じている職員の割合 (%)	増	今後設定	今後設定
(3)	「健全な財政運営への ガイドライン」の数値基準の 達成 (%)	現状維持	今後設定	今後設定
(4)	公共施設の削減量 (㎡)	減	今後設定	今後設定

□施策１１３：DXの推進

○施策のねらい

- ・ 少子高齢化によってあらゆる分野で担い手の減少が見込まれる中、デジタル技術の活用と業務改善によって行政サービスの利便性を高めるとともに、業務の効率化を図ります。
- ・ 人にしかできない、人だからこそできる業務に注力し、新たな価値を創出することができる組織を目指します。

○主な取組

(1)DXの推進による業務効率化とサービスの改善（１１３１）

データ活用やA I等の新たなデジタル技術を活用することで、地域課題の解決や行政事務の効率化を図ります。また、マイナンバーカードの多目的利用やオンラインでの申請手続の拡充などによって、フロントヤード改革を進め、市民サービスの質を向上させます。

(2)情報システムの適切な管理（１１３２）

行政事務のデジタル化を支える情報システムの適切な管理運用や、情報セキュリティの向上を図ります。

(3)デジタル人材の確保・育成（１１３３）

C I O補佐官などの専門的な知見を持つ外部人材を活用するとともに、デジタル人材育成に取り組みます。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R 5年度)	目標値 (R 1 1年度)
(1)	行政手続のオンライン利用率 (%)	増	今後設定	今後設定
(2)	業務システム適正稼働日数 (※) (日)	現状維持	今後設定	今後設定
(3)	育成したデジタル人材の数 (人)	増	今後設定	今後設定

(※) 計画メンテナンス日を除く

□施策１１４：市民参画と広報・広聴の促進

○施策のねらい

- ・ 市長や職員が積極的に地域に足を運び、直接市民の声を聞き、市政にいかすほか、市民に向けて積極的に情報を公開します。
- ・ 松山に関わる人に松山市の行政活動に興味を持ち、積極的に参画してもらえよう受入環境を作るとともに、各取組のターゲットの目線に立った情報発信をします。

○主な取組

(1)市民参画機会の充実（１１４１）

市長や職員が、市民の集まりの場に出向き、市政について意見交換を行う場を設けるほか、ホームページやSNSなど様々な情報媒体を活用して、市民が市政に対して提言できる機会の充実を図ります。

(2)行政情報の発信（１１４２）

広報紙や市政広報番組、市ホームページのほか、市LINE公式アカウントなどのSNSを通して、市民に松山市の取り組みや制度、防災情報などのお知らせを正確で分かりやすく発信します。

○成果（アウトカム）指標

	指標名	区分	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
(1)	市が開催する意見交換に参加した人の数（人）	増	今後設定	今後設定
(2)	市HPの総アクセス数（件）	現状維持	今後設定	今後設定

4. 各政策に関連する主なSDGsの17の目標一覧

(1) SDGsとは

2015年に開催された国連サミットで、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。その中に掲げられた、「持続可能な開発目標」のことを、SDGs（Sustainable Development Goals）と言います。SDGsは2030年を目標年に、17の目標で構成されています。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す、世界共通の目標です。

(2) 松山市とSDGs

松山市は令和2（2020）年に国から「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されており、本計画の推進を通じてSDGsの実現に取り組めます。

本計画に掲げる各政策と主なSDGsの17の目標の関係性は、以下の通りです。

政策		SDGsの17の目標				
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 健康と福祉をすべての人に	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
政策【分野】		政策別未来像				
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 健康と福祉をすべての人に	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
01	子どもを輝く未来へつなぐ【こども・教育】	地域で子どもを育てている	●	●	●	●
02	人と人の支えあいをつなぐ【福祉】	つながりと支えあいを大切にしている	●	●		
03	健康をつなぐ【健康・医療】	健康でいきいき暮らしている		●		
04	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	大好きな松山で、自分らしくいられる		●	●	●
05	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	松山ファンが増えて、集まってくる			●	
06	人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる	●			
07	まちとまちをつなぐ【交通】	自分に合った移動手段で、気軽に出かけられる				
08	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	都会と田舎の住みやすさが共存している				
09	豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている			●	
10	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	災害への備えがあり、安心できる		●	●	
11	つなぐを支える【連携】	つながりがまちの活力になっている				

6 安全な水と トイレを世界中に	7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等を なくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップ で目標を達成 しよう
											
		●	●	●	●	●				●	●
		●		●							●
●					●						●
				●	●					●	●
		●	●		●			●	●		●
		●	●	●			●	●	●		●
	●		●		●			●			●
●			●		●			●	●		●
●	●					●	●	●	●		●
					●	●	●			●	●
			●	●	●					●	●

5. 用語集

用語	説明
【あ】	
IT	コンピューターやインターネットなどの情報技術(Information Technology の略)。IT と ICT は、ほぼ同じ意味で使用される。
IT人材	IT の活用や情報システムの導入を企画、推進、運用する人材。
愛の一声訪問事業	ひとり暮らしの高齢者を訪問し、安否確認等を行う取組。
アンコンシャス・バイアス	無意識の思い込みや偏ったモノの見方のこと。「無意識の偏見」等と表現されることもある。
【い】	
一次、二次、三次救急医療	円滑な受入体制を整備するため、地域での役割を明確化した救急医療体制のこと。一次救急は比較的軽症で緊急性が低く入院の必要がない救急医療、二次救急は入院や手術を必要とする救急医療、三次救急は高度な専門的医療を総合的に実施する救急医療のこと。
一般会計	市税などの収入をもとに、教育や福祉、道路の整備など、主に市の基本的な行政サービスを行う会計のこと。
【う】	
雨水管渠	雨水を集めて効果的に排水するための排水管やマンホールの総称。
【え】	
AI	人工知能。人の様々な知覚や知性を人工的に再現するもの(Artificial Intelligence の略)。
SNS	人と人との社会的なつながりを維持・促進する様々な機能を提供するオンラインサービス(Social Networking Service の略)。
SDGs	2015 年に国連で採択された、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。「貧困」や「飢餓」、「環境破壊」など、2030 年度までに解決すべき 17 の目標で構成される(Sustainable Development Goals の略)。
【か】	
学校生活支援員	サポートが必要な児童に教師とともに支援する職員。

用語	説明
【き】	
GIGA(ギガ)スクール構想	全国の児童・生徒に1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する文部科学省の取り組み。
基幹病院	重症患者の受入や高度・専門的医療の提供など、地域に必要な医療の中核としての役割を担う拠点病院。
企業会計	企業の財政状態と経営成績を取引記録に基づいて明らかにし、その結果を報告する一連の手続き。
銀天街L字地区	銀天街と大街道が交差する付近を中心とし、千舟町通りや中之川通り周辺の区域。
【け】	
ゲートキーパー	悩んでいる人に気づき、声かけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人。
健康アプリ	高齢者の外出の機会を増やし、無理なく楽しみながら健康管理を習慣にできる、スマートフォン上のプログラムのこと。
健康寿命	日常生活上の動作が自立している期間の平均。
【こ】	
公共施設マネジメント	全ての市有施設を行政経営の観点から総合的かつ統括的に企画・管理するとともに、利活用する仕組み。
合計特殊出生率	一人の女性が15歳から49歳までに産むことものの人数の平均。
コミュニティ・スクール	学校運営協議会制度のこと。学校運営協議会を設置することで、学校運営に地域の声を積極的にいかし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めること。
【さ】	
再生可能エネルギー	太陽光や水力、風力、地熱など、地球環境に対する負荷の少ない、半永久的に利用可能なエネルギー。
『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想	小説『坂の上の雲』ゆかりの地をはじめ、地域固有の資源が点在している松山市内全域を「屋根のない博物館」と捉え、回遊性の高い物語のあるまちを目指す構想のこと。
【し】	
CIO(シーアイオー)補佐官	最高情報統括責任者(Chief Information Officer の略)のマネジメントを専門的な見地から補佐する職員。DX 関連事業の推進やデジタル人材の育成等について技術的助言や支援を行う。
シェアサイクル	複数の場所で、自転車を貸出・返却できる交通手段のこと。
次世代モビリティ	新しい交通手段や交通システムの総称。AI を活用した自動運転技術など最先端の技術を取り入れて進化した移動手段。

用語	説明
シームレス	公共交通分野では、鉄道や他の交通機関の乗り継ぎを円滑にするため、ソフト・ハード両面で継ぎ目を解消し、利便性を高めること。
社会に開かれた教育課程	学校教育の中で子どもたちが社会とつながり、自身の目標達成のために積極的に行動する力を育むこと。学習指導要領の基本的理念。
小規模保育事業所	少人数(定員6～19人)の0～2歳の子どもを対象に、家庭での保育に近い雰囲気のもと、きめ細かな保育を行う施設。
【た】	
ダイバーシティ	多様性。年齢や性別、国籍、人種、教育、職歴、価値観など、属性の異なる様々な人が共存している状態。
脱炭素型ライフスタイル	気候変動への影響を小さくする持続可能な生活様式。市民の暮らしを支えるあらゆるサービスは、製造から廃棄までの間に温室効果ガスを発生させることから、その消費のあり方を見直して、脱炭素型の製品やサービスを利用していくこと。
【ち】	
地域運営組織	まちづくり協議会、町内会連合会、町内会・自治会など、地域住民が中心となって、地域課題の解決に向けた取組を行う組織。
地域共生社会	世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。
地域福祉専門分科会	地域福祉に関する事項を調査審議するため、松山市社会福祉審議会に設置する分科会のこと。
【て】	
DX	デジタル技術によって製品やサービス、ビジネスモデルを変革すること(Digital Transformation の略)。
【と】	
特別会計	国民健康保険や介護保険など事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計。
共育て	保護者が相互に協力しながら子育てすること。
【に】	
二次救急医療体制	地域で発生する入院や手術を必要とする救急患者を 365 日 24 時間体制で受け入れる救急医療体制。
認知症サポーター	認知症の人とその家族の応援者(サポーター)のこと。認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族に対して、できる範囲で、温かく支援する役割を持つ。
認定子ども園	幼稚園と保育所の機能や特長を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設。

用語	説明
【の】	
農林漁家経営	農林漁業を営む経営のこと。
【ふ】	
複業	複数の仕事を掛け持ちする働き方。
ふるさと松山学	松山ゆかりの先人及び正岡子規の人生や俳句を素材として作成した教材。
フロントヤード改革	住民と行政との接点の改革。住民と行政のコミュニケーションやサービス提供の仕組みを根本的に変革し、効率的で利便性の高い行政サービスを目指す取組。
ほしふるテラス姫ヶ浜	忽那諸島最大の島「中島」にある、瀬戸内の多島美を望む海岸に面した宿泊施設。令和2年にリニューアルオープンし、海水浴やBBQを楽しむことができる。
【ま】	
MICE(マイス)	企業などの会議や研修旅行、国際機関・団体、学会等が行う国際会議、展示会や見本市、イベント（Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition/Event の総称）。
松山圏域	松山市を中心都市として、近隣の伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町の3市3町で形成された連携中枢都市圏。
松山市地域防災協議会	地域防災に関わる複数の機関が産官学民協働で、総合的な地域防災の強化に取り組む体制のこと。
松山の授業モデル	学習指導要領に基づき、松山のこどもたちに必要とされる資質や能力を育むため、小中学校の授業づくりを基本として、教育研修センターが提案する授業モデル。
【れ】	
令和の日本型学校教育	誰一人取り残すことのない持続可能な社会の創り手を育成するため、ツールとしてICTを基盤としながら、これまでの学校教育を発展させる、2020年代を通じて目指す学校教育の姿。